

お手入れ方法

■ 通常のお手入れは、乾いたやわらかい布で、から拭きして下さい。

■ 汚れがひどい場合は、薄めた中性洗剤を柔らかい布に浸し拭きとって下さい。
その後、きれいな水で洗った布を固く絞って洗剤分を拭きとって下さい。

うすめた中性洗剤



注意

- シンナー、ベンジン等は使わないで下さい。
表塗装が剥がれる恐れがあります。
- 清掃は、手袋をはめて下さい。
けがをする恐れがあります。



- ① 転倒防止をしないと、転倒によるけがの原因となります。必ず別売の固定金具で固定して、ご使用下さい。詳しくは、販売店におたずね下さい。
- ② 工具管理ユニット施工後に移設したい場合は、必ず販売店にご相談下さい。販売店又は、その指定業者以外の者が移設施工した場合は、その移設施工に起因する事故には、一切の責任は負う事ができません。
- ③ 工具管理ユニットは大型で施工を伴う家具ですから、一般の家具とは構造・体積等大きく異なります。十分に「取扱説明書」の安全条項を確認厳守の程、お願い申し上げます。

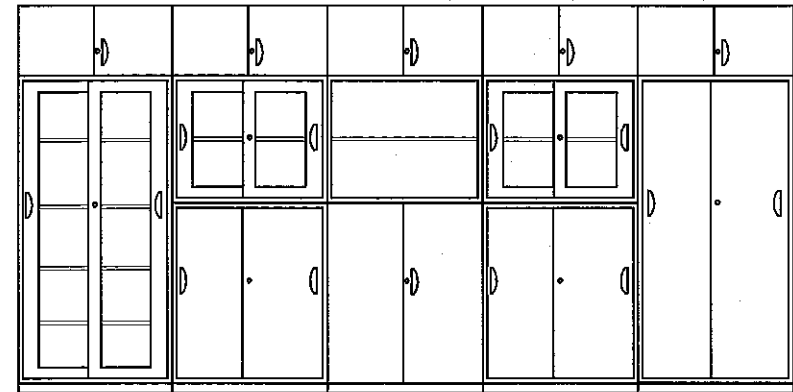
この製品を譲渡される場合は、この【取扱説明書】も必ず添付して譲渡して下さい。

弊社では安全な製品作りを常に心がけておりますが、ご不明な点がございましたら、お客様相談室までご連絡下さい。

取扱説明書

保存用

工具管理ユニット SKシリーズ



この度は、サカエ製品をお買い上げくださいますありがとうございます。
この説明書は、この製品の使い方(使用上の注意事項)について記載しています。ご使用前に、この説明書をよくお読みの上、正しくお使い下さい。

また、この製品を末長くご使用いただくために、この説明書は大切に保存して下さい。

サカエ

大阪市城東区成育5丁目22-9

フリーダイヤル
お客様相談室 0120-575101

R70

古紙製紙屑の再利用に協力しています。

安全上のご注意

警告

この注意事項を守らなければ、死亡又は重傷を負う可能性があります。



- 上下連結、左右連結を確認して下さい。
扉開閉時に倒れてきてけがをすることがあります。

- 指定以外の積み重ねをしないで下さい。
倒れてきてけがをすることがあります。



- 分解・組立・移動は専門業者にお任せ下さい。
転倒などの事故になることがあります。



- 廃棄するときは、専門業者にお任せ下さい。
焼却すると有毒ガスなどが発生することがあります。

注意

この注意事項を守らなければ、損傷を負うか又は物的損害が生じる可能性があります。



- 可動部のすきまに手を入れないで下さい。
けがをすることがあります。

- 可動部に手をつけたまま操作しないで下さい。
手をはさんでけがをすることがあります。



- 簡易施錠のため、貴重品は入れないで下さい。
工具などを用いた破壊には耐えられません。

- 耐荷重以上に収納しないで下さい。
棚板が落下してけがをすることがあります。(耐荷重の値は下記の通り)

- 上段の扉を開けたまま下段で作業をしないで下さい。
立ち上がった時に上段に当たり、けがをすることがあります。

- 棚板に乘らないで下さい。
棚板がはずれてけがをすることがあります。

- 火のそばに近づけて使わないで下さい。
火災になることがあります。

- 危険物(壊れ物・薬品・生き物など)を収納しないで下さい。
人体や衣服などを傷つけることがあります。

- ボルトやネジが緩んだままで使わないで下さい。
本体が壊れてけがをすることがあります。

- 本体の上に乘らないで下さい。
転倒してけがをすることがあります。

- 異常を発見したままで使わないで下さい。
本体が壊れてけがをすることがあります。

- 用途以外で使わないで下さい。
けがをすることがあります。

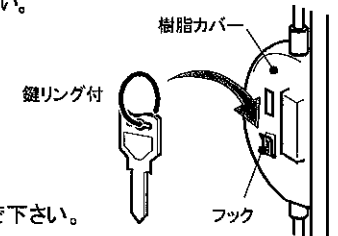
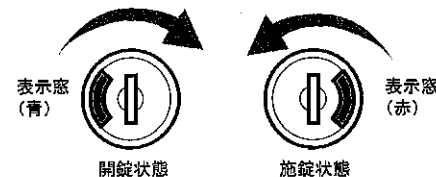
- 分解や改造をしないで下さい。
破損やけがをすることがあります。

使用上のご注意

1. 施錠操作

鍵を左に180°回転させれば、施錠され、右に180°回転させれば、開錠されます。

鍵は、両開きの扉の裏に収納することができます。右扉の取手裏側のフックに、鍵のリングを引っ掛けて下さい。



注意

- 鍵を差し込んだままの状態にしないで下さい。
けがや衣服の損傷の原因になります。
- スペアーキーは、施錠する本体の中には入れないで下さい。
万一の紛失に備えて、必ず別の所に保管して下さい。

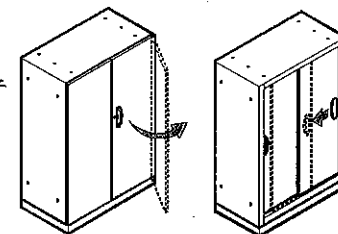
2. 扉の開閉

〔両き扉〕

取手内のレバーを持って右扉を手前に引いて下さい。ラッチが解除されて開きます。

〔引戸扉〕

取手内のレバーを持って扉を横にスライドして下さい。ラッチが解除されて開きます。



注意

- 扉・引戸を開める時はラッチのかかりを確認して下さい。
ラッチが外れていると、振動で開いてくることがあります。
- 扉・引戸の開閉は静かに行ってください。
乱暴に扱うと破損やけがの原因になります。

3. 棚板のセット

棚受け金具を棚柱の角穴に差し込み棚板を載せて下さい。その際、4個の棚受け金具が、同じ高さになるようにセットして下さい。
(24mmピッチで高さ調整できます)



注意

- 棚板の高さを変更する場合は、収納物を取り除いてから行なって下さい。
収納物が落ちてけがをすることがあります。
- 収納物が、棚板からはみ出さないようにして下さい。
扉や引戸の開閉の妨げになったり、故障や破損の原因となります。

4. その他

設置・組立は、別紙「組立説明書」をお読み下さい。その他不明な点があれば、購入先へご相談下さい。

注意

- 直射日光やストーブなどの熱が直接当たる場所で使用しないで下さい。
変色や変形の原因になります。
- 屋外や水のかかる場所や湿度の高い場所で、使用しないで下さい。
故障やサビ・変色の原因となります。

耐 荷 重 (棚板1枚あたり)	品 種		耐荷重(kg)
	幅(W)	奥行(D)	
	900	450	50